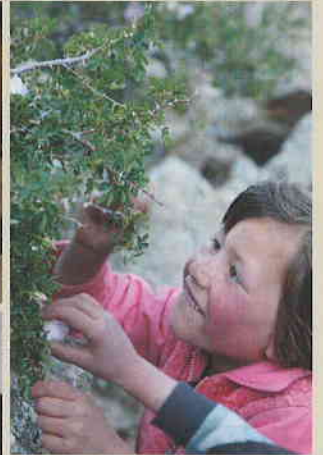
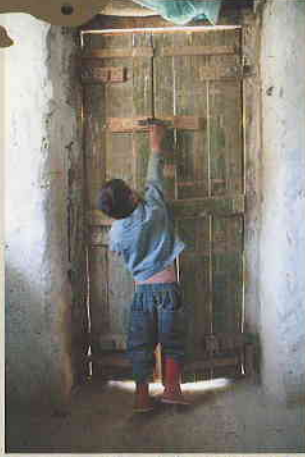


翼 ばあーる 山の学校

アフガニスタン山の学校だより
11号

サレ ナウ モバラク!
سال نو مبارک
新年あめどう!



第4回総会&現地報告会開催 大阪・現地報告会

新年明けましておめでとうございま
す。会も発足から5年目。これからも
学校の子どもたちへの支援を通して、
アフガニスタンの人々とつながって
きたいと、思いを新たにしています。
冬の最中、山の学校はお休み。学校
に続く山道は雪に埋まり、村々もすつ
ぽりと雪に包まれていることでしょう。
授業はなくても、家畜に飼葉を食べべ
させたり、テラスの雪かきという仕事
が子どもたちにはあります。表に出る
ときは、昨年、会が日本から持参した
色とりどりの手袋をしていることとし
よう。仕事が終わって、こたつで暖を
とるときには、学校から借りてきた本
を読んでいるかもしれません。先生た
ちは昨年、実施された教員研修のテキ
ストを見ながら、春の授業のことを考
えてくれているといいなあと思ったり
しています。
自爆テロや戦いがやまず、復興がな
かなか進まないという厳しい状況のア
フガニスタンですが、子どもたちへの
教育は、おとなたちの大きな希望です。
その思いを無にしないためにも、教育
支援を通して、私たちは地域の人々と
共に未来に向かって歩んでいきたいと
思います。全国の会員の皆様、今年も、
どうぞよろしくお願い申し上げます。

長谷川海



第4回総会&現地報告会開催

去る11月4日、第4回総会・アフガニスタン現地報告会が開催されました。前回は予想以上に多くの方にご来場いただき、会場が混雑してしまつた経緯を踏まえ、今回はより広くて設備も新しい杉並公会堂での開催となりました。会員・一般の方、合わせて、107名にご参加いただきました。

【総会】まず、副代表の比留川が、国内の活動として、より多くの人に山の学校を知っていただくことを目的として行つていく写真パネル展の開催状況や、NGOへの助成金申請活動のひとつとして、福山久松ライオンズクラブ様から寄付をいただいたこと等を報告しました。

現地においては、今年度は山の学校の先生全員にJICAが行つていく教育研修プログラム

に参加してもらつたこと、当初予定していた校庭用地の買い上げが非常に困難であるため、代わりに学校前の土地を整理して校庭として使えるように方針を変えた等の報告を行いました。また、ドイツのNGOであるオツファリンと協力して進めてきた女性の識字教育支援が、オツファリン側の都合で一時的に中断されたこともお伝えしました。

会計の森からは、会員が800人を超えるに至り、このまま会員数が減ることなく現在の支援規模維持を仮定すると、厳しいながらもなんと10年間（2014年）の支援を続けていける見通しが立つてきたと報告。また、2年前に募集した校庭用地取得のための特定目的基金に關しては、前述の理由により学校前の土地を整理するのにかかる費用を除き、全額山の学校のための他の用途に使う予定であることもお伝えしました。

【現地報告会】長倉代表が昨年夏の現地公式訪問で撮影した61枚の写真を見ながら、山の学校の子どものたちの生き生きとした様子をエピソードを交えて紹介しました。今回の訪問は6月であつたため子どもたちが山菜採りや放牧に精を出す姿が多く見られ、例年とは少し違つた雰囲気の写真も数多くありました。学校内の雰囲気や支援活動の紹介だけでなく、放課後の子どもたちの様子や、学校に行きたくても家の仕事が忙しくてなかなか通うことが出来ない様子も詳しく紹介され、普段あまり知らなかったことのできないアフガニスタンの一面をお見せできるよい機会となつたと思います。

大阪・現地報告会

11月17日、現地報告会を大阪府・高槻現代劇場文化ホール展示室で開催しました。

まず長倉代表によるスライドトークが始まり、山の学校の子どものたちの生活の中でのさまざまな表情が次々と紹介されるとともに、アフガニスタンの厳しい政治状況が伝えられました。質疑応答に続いて、6月に長倉代表とともに現地に同行した

運営委員の森・高橋からも、現地での子どものたちの様子や子どもたちの母親との話などが紹介されました。

交流会では、山の学校の写真パネルや子どもたちの描いた絵、通学とお手伝いですり切れるまで使い込まれたリュックなどを展示したり、学校訪問の様子を撮影した映像を見ていただくことで、ご参加の皆さんに子どもたちのことをより身近に感じてもらえるようにいたしました。

また、アフガニスタンのレーズンやクルミ等の木の実やお菓子の試食テーブルは好評で、大きな輪ができていました。収益金が活動費となるポストカードや書籍のコーナーも人気でした。

参加者は85名（会員36名・一般49名）。産経・読売・朝日の3紙による開催直前の紹介記事、会員自身のブログでの呼びかけ、そして会員個々の声掛けがあつた成果だと思えます。報告会当日の入会申し込みは1名、寄付1名。「入会します！」と宣言された方々も数名おられました。

今回も会員の方々に手伝っていただいた会場設営を行いました。また、打ち合わせなしにもかかわらず準備から片づけまでテキパキと素晴らしいチームワーク

を發揮され、会場に入つてくるなり、「さあ、何をしたらいいですか？」と積極的。それぞれが自分の出来ることを探して相談しながら作業してくださりました。



山の学校のみんなへ“寄せ書き”。なんて書こうかな...

1年ぶりに会う会員さんとは「お久しぶりでーす」と再会を喜んだり、会員さんのブログ仲間が来てくださった、「はじめまして！」と言いながらも、早速手伝いをお願いしたりと、和やかなムードでした。高槻のちびっこスタッフさんも、はりきって手伝ってくれました。

報告会は、一般の方に本会や山の学校の子どものたちを知ってもらえるだけでなく、会員同士が交流し、親睦を深められる有意義なものであることを再認識しました。今回参加できなかった方も、次回はぜひ参加していただいて、会員の輪（和）を拡げましょう。

ご協力くださった皆さん、どうもありがとうございます。（大阪運営委員 雨堤・林・辻内）



毎年、総会と現地報告会の後に開かれるのが交流会。今回も担当スタッフが準備に奔走しました！交流会当日の様子とあわせてご紹介します。

出会う！つながる！ 交流会プロジェクト

総会開催を数か月後に控えた初夏、プロジェクトがスタートしたときの私たちの思いは、私たちの会が「なぜポーランドの学校を支援するのかということ」、そして物やお金を一方的に送るだけではなく「現地のおとなたちとともに考えていく活動であること」を交流会を通していねいに伝えたいというもの。もちろん“交流会”ですから楽しくなくちゃ！と参加者体験型は継続しました。今回は山の学校の子どもたちとの交流も大きなテーマのひとつです。

ポーランドは、長倉代表がアフガニスタン抵抗運動の指導者マスードの統一戦線づくりの旅に同行したとき、宿泊と食事をお世話になったところ。アフガニスタンでは珍しい男女共学のこの学校を最初に支援したのはマスード。子どもたちへの教育支援は彼の遺志とも言えます。そのマスードの紹介と思い出の品々の展示は（もちろん！）長倉代表の担当。すばらしいコーナーができました。

事務局から

●分割会費未納の方へ 2007年度分割会費未納の方に郵便振替用紙を同封させていただきましたので、指定期日までに納入をお願いします。
●書き損じはがき&不要切手を、今回の会報送料分ですべて

使い切りました。ありがとうございます！引き続きご協力をよろしくお願いします。
●本の紹介 本会会員の中道貞子さんが、現地教育現場&生活体験記『中道ママ アフガンを行く』（かもがわ出版）を出版されました。



子どもたちとの交流としては、昨年6月に現地を訪問したスタッフが撮り続けたビデオの中から、登校風景、学校での様子、家での生活の様子を編集してご紹介し、会場には常に山の学校の子どもの元気な声があふれていました。

また、支援開始時は“お絵描き”にまだ慣れず、日本から贈られた絵本を

光栄に思います。（比留川征子）
を買い換える費用に充てさせていただき、すでに「ライオンズクラブ寄贈」のステッカーを貼った車がパンシールの山道を走っています。記念すべき事業に際して、数多くある様々な団体の中から本会が選ばれたことを

まねて単調になりがちだった子どもたちの絵が、今回は確実に個性を感じられるものに！そこで、そんな絵をぜひ皆さまのお手もとに置いていただきたいと思い、しおりづくりのコーナーを設置。絵のコピーや、挑戦して書いていただいた語りなどをちりばめたお手製のしおりを作成してお持ち帰りいただきました。

子どもたちの絵もだんだんと個性的に



また、1、2年生が本やノート（時には山菜）を入れ、たった1年間でボロボロになってしまったリュックや子どもたちの絵も現地から持ち帰り多数展示。そして寄せ書きコーナーを設置し、参加者のメッセージをいただき、次回の現地訪問時に長倉代表へ託すことに。もちろん今回も、

現地でおとなの女性が着ているブルカや男性の民族衣装チャパン、そして色とりどりの帽子などを身に着けてみるコーナーや、現地調達のアフガニスタンのお茶（カルダモン入りチャイ）やお菓子（干しぶどう、ピスタチオナッツ、クルミ）を楽しんでいただきました。加えて、桑の実（トウート）をすりつぶし固めて乾燥させた、見た目には岩のような、でも味はドライフルーツのようなタルハーンも登場。準備のときは、これをカチ割るために椅子を使うなど大騒ぎでしたが…（笑）

ともあれ、「友人のプレゼントにもぜひ！」と3枚もしおりづくりにチャレンジくださった方、「成長の過程を知ることができ励まされた」「子どもたちの絵に夢を感じた」「毎年楽しみにしています」と感想をお寄せくださった方、お菓子を差し入れして下さった方など、子どもたちの笑顔と声に囲まれての人と人との温かいつながりを実感するとともに、これからの広がりを願ってやみませんでした。

「まずは、ここポーランド」で私たちの思いをていねいに伝えてゆくこと。それに向け、会員の皆さまと思いをひとつにしていける場としての交流会。また次回も、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

（交流会担当：倉田奈古、高橋美香）

福山久松ライオンズクラブ様からご寄付

昨年6月、広島福山久松ライオンズクラブ様より、同クラブと屏東欣欣獅子會（台湾）の25周年記念共同事業の一環として支援の申し入れがありました。本会の活動の様子を示す会報、ビデオ、写真集等をお送りし、さらに長倉代表や担当スタッフから先方への電話、メールの連絡を通じてこれまでの会の活動をご理解いただき、その結果、10月に100万円のご寄付をいただきました。いただいたご寄付は早速“山の学校”の車

ムルサルさんのカブール通信



皆様、新年、明けましておめでとうございます。昨年末には、隣国パキスタンのブット元首相が暗殺されるなど、隣国までもがなかなか落ち着いたアフガニスタンですが、2008年の幕開けは何事もなく静かに迎えることができました。神に感謝。

今、アフガンでは「セタラ・アフガン」というアフガン版スター誕生のテレビ番組が人気を集めています。実際に初代スターに輝いた男性は歌手としてデビュー、CDも発売され人気を博しています。町のショッピングモールでは、若い女性のみならず、男性もおしゃれに夢中。そんな人々の姿を見ていると「この国も平和になったなあ〜」などと、ふと感慨にふける私です。

世界的な物価の高騰は、ここアフガンにも押し寄せ人々の生活を圧迫しているのも事実です。2月には、日本でアフガン復興会議が開催されます。いまだ、一部地域では戦闘状態、外国部隊も駐留し、まだまだ問題は山積みです。しかし、着実に平和に向かうこの国の現状を、今後も皆様温かく見守ってください。

カブールより 2008年元旦 安井浩美

好評発売中！

ポストカード第3・4集

昨年ハガキでお知らせしたものより、第3・4集の組み合わせが変わりました。

3枚1セット…500円

収益金はすべて会の活動費に充てられます。



▲第3集

【購入方法】

ポストカード代金に送料を足した金額を郵便局よりお振り込みください。2セットよりご注文を承ります。

●代金

(500円×セット数)+送料(表参照)=合計金額

●振込先

口座名義(加入者名)

アフガニスタン 山の学校支援の会

郵便振替口座番号 00160-1-667404

通信欄に、1)「第△集を〇〇セット希望」、2)郵便番号・ご住所・お名前・電話番号を明記してください。お振り込みを確認し次第できる限り早く郵送しますが、場合によってはお届けまでにある程度の日数を要することがあります。どうぞご了承ください。



▼第4集

セット数	送料
2~3	90円
4~6	140円
7~9	200円
10~15	240円
16~20	390円

広がれ！パネル展のわ
 青森県弘前市：SAPPA-DO (サップドウ) 12/2

青森県で初めての「山の学校の会」のパネル展を弘前で開催し、たくさんの方(約400名)に子どもたちの笑顔とキラキラした瞳、「山の学校の会」の活動を伝えることができました。ポスター、飾りつけの作成や準備は、すべて地元大学生による手づくりです。「子どもたちの笑顔に国境とか障がいはないですね！」と、長倉さんの写真集を見て会の活動に共感してくれた教育学部や社会福祉学部の学生が中心となって準備を進めました。「次回はいつやるんですか？ 決まったら教えてください！」と20代の保育士さんから声を掛けられました。支援の会の輪を広げる小さな一歩、でも確かな一歩となったパネル展でした！(寄稿：橋本義久さん)

東京立川市：MUSIC & ART in TACHIKAWA NICE JAZZ for MAT 12/15

立川を50年以上見守ってきた3本のプラタナスの木。米軍基地開発で切られようとしていたこの木を守るため、立川在住のアーティストが中心となって立

ち上がったことに端を発したが、このMATというイベントでした。

毎回、音楽と様々なジャンルのアーティストの組み合わせで行われるMAT第13回目の「JAZZ・クリスマス」に参加したのが、我が会のパネル展です。アフガニスタンとジャズ…、およそそんな接点も無さそうな組み合わせですが、サククス(中村誠一さん)・ピアノ(吉岡秀晃さん)の巧みな演奏に次第にのってくる観客を、写真の中の子どもたちの笑顔が包み込み、会場は温かい雰囲気となりました。

※その他、10/13に東京都小平市のギャラリーあおらんぎ、11/3に大阪府高槻市の今村学園高槻幼稚園文化祭「ひなぎく祭」にてパネル展が開催されました。

パネル展開催のお知らせ

■4/8~18 福山市役所1階ロビー ■4/20 福山市アルセ(福山・久松ライオンズクラブ25周年記念式典会場ロビー)

■4/21~5/2 NHKふくやま1階ギャラリー



アフガニスタン 山の学校支援の会は、写真家・長倉洋海が取材活動を通して出会った、ハンジール渓谷ホーロン子村の子どもたちの教育支援を目的として設立された非営利の団体です。2004年2月に設立、以後2014年3月までの約10年間にわたり活動を続けていきます。